就職活動が本格化

先入観なく情報収集を

短い就活期間の中で、効率的に多くの企業と出会い、自分に適した企業にエントリーするにはどうすればいいだろう。つくば市東新井の総合人材サービス会社「セキショウキャリアプラス」で就活イベントの企画や支援に取り組む入社２年目の若手社員、鈴木千絢さん（24）に体験談を交えてアドバイスをもらった。

セキショウキャリアプラス　鈴木千絢さん（24）

企業理解深めて

２月から業界研究イベントの場に立ちましたが、興味のある１社だけを見て帰ってしまう学生も。３月に集中する合同説明会は多くの採用担当者と直に話せるチャンス。

各企業がわかりやすく概要をまとめており、業界の特徴や比較といった理解を深めるのに役立ちます。希望する業界の企業数社の説明を聞くだけでも、収穫があります。

私はウェブ上で興味がある企業を調べながら、業界研究や合同説明会に多い時は週４、５回足を運びました。就職活動は自分で動かなければならないからこそ、体を少しでも動かして前向きに進めるといいと思います。

また、視野を広げる視点の一つとして、対法人のＢｔｏＢ企業にも目を向けるのが大切です。名前を聞いたことがある身近な企業の多くは対消費者のＢｔｏＣ企業で、ＢｔｏＢは知らないことも多いはずです。

やりたいこと軸に　視野広げて

関わりを意識

例えば、医療関係であれば、患者と触れ合う専門職の仕事に目が向きがち。ですが、その現場は医療機器メーカーや医療現場のシステム構築をするＩＴ会社など、さまざまな分野に支えられています。介護のサービス提供会社、または医療の人材育成に携わる会社ー。気になる業界はどんな企業と関わりがあるか、考えを広げてみてください。

県内にも都内の企業に負けない規模や分野ナンバーワンの企業がたくさんあります。先入観を持たず情報収集してみてください。

優先順位を付ける

私自身、就職活動中は大手や興味があった出版分野に絞って調べていましたが、活動の後半には視野を広げて企業を見ていました。自分のやりたいことをパーツに分けて考えてみてください。自分のやりたいこと、「軸」をはっきりさせた上で優先順位を付け、それが実現できる企業を探してみてください。

私の場合は、「本が好き」「文字や文章を書く」「企画を立てたい」「地元で働く」など。このうち、特にやりたいと重視していたのが、「自分が考え企画する」でした。今は、自社や自治体委託の就活イベントの企画や、求人情報サイト運営の中で、企業紹介のための取材や出版に携わり、やりたいことができています。

焦らない就活を

今の学生は待遇面や福利厚生を重視しがち。ですが、肌に合わない仕事を選び、生活の大部分の時間を割いてしまうのは大変です。貴重な活動中に仕切り直して軸を考え直すのは時間のロスにもなります。焦っても、早く切り上げてしまわないで、自分の軸をしっかり持ち、視野を広げながら、満足度が高い就職活動を心がけてほしいです。

BtoB企業…法人や企業を相手に事業や商取引を行う企業のこと。
BtoC企業…一般の消費者向けにサービスや商品を提供している企業のこと。
※Bは法人（Business）、Cは消費者（Customer）の意味。